



東京セキスイハイム工業株式会社

蓮田工場

日時：2014年5月19日（月）

参加人数：16社、31名

今年の研修会は、埼玉県蓮田市にある東京セキスイハイム工業株式会社の蓮田工場を見学させていただきました。

した。

セキスイハイムは工場生産型の住宅で、大半を工場で作りに上げるという工法で住宅づくりを行なっています。蓮田工場は、東京ドーム2個分、約97,000㎡の広大な敷地の中に3つの工場建屋があり、1日に約10棟強、年間約2,000棟の住宅を生産しています。

- ① 鉄骨加工：2種類のロボットを使ってミリ単位の精度で溶接を行ないます。アーク溶接ロボットを使い、ジョイントピースで柱と梁を溶接します。
- ② 床フレーム組立て：大型の定盤を用いて、水平・垂直を確実に施工しています。
- ③ 天井フレーム組立て：機械でフレームを反転させて天井を上向きにすることで、無理のない姿勢で正確に作業が行えます。電気の配線はミスがないように、設備ごとに色分けをしています。
- ④ ユニット組立て：全自動スポット溶接により、各フレームを接合します。接合部は1打点で4トンの力に耐えます。
- ⑤ 外壁取付け：高い位置の外壁や窓の取付けも、安定した足場で正確に施工し、特殊リベットで外壁に傷をつけないようにします。
- ⑥ 設備取付け：階段・エレベーター、ドアパネル、キッチン、バスユニットなどの設備を組み込むラインを見学しました。
- ⑦ 検査：全ユニットで4段階、認定を受けた検査員により250項目の検査を実施します。部材情報とともに保管しリフォーム時に対応します。
- ⑧ 梱包・出荷：重量が2～3tもある完成ユニットをひとつひとつ厳重に梱包します。それをトラックに乗せて仮置き場に置き、その後出荷します。

住宅は屋外で建てるというイメージがありますが、工場内での家づくりという貴重な現場を見学させていただき、非常に興味深く有意義な機会となりました。

工場見学を終え、次に2棟のモデルハウス「パルフェ館」「ドマーニ館」を見学しました。

### 《パルフェ館》



130坪の広さの邸宅「パルフェ館」は、お客様を招きやすい、おもてなし空間のある家をテーマに設計されています。フォーマルなリビングやダイニングを設け、奥へ進むほどにプライベート感が増す空間設計となっています。部屋ごとにヨーロッパ風、欧米風、和風といったようなテーマが設けられており、ゴージャスな雰囲気が醸し出されています。

子供部屋は、子供の成長に合わせて可動式家具で間取りを変えられる可変性を持たせるなどの工夫が施されています。他にも茶室や2階バルコニーのバスルームなど、豪華な内装の数々を見学しました。家中の温度差を抑える床下温熱空調システムにより、室内は上質な空気で満たされており、心地良い空間を体感することが出来ました。

### 《ドマーニ館》



傾斜屋根が特徴的な「ドマーニ館」は、広さ40坪の4人家族をイメージした、実邸と同等規模のリアルサイズの展示棟です。このドマーニ館は、陰山英男先生がプロデュースした「かげやまモデル」で、陰山メソッドをベースにした「子供が賢く育つ家」とのことです。この住宅には、子供の成長を支える様々な工夫が施されています。

#### ① 子供を賢く育てる3原則

どこでも学習できる場所づくり／生活習慣を支える仕掛け／家族コミュニケーションの演出

#### ② 子供が賢く育つ工夫

廊下やトイレなどに本棚を設ける／ダイニングの一角にカウンターデスクを設置／子供が自分の部屋に行くのに、必ず家族と顔を合わせる動線／収納の工夫を促すキッズクローク／リビングに HEMS を設置

住宅の工業化を目指す中国の住宅分野においては、将来検討されることがあるかもしれないと考えながら見学をしました。東京セキスイハイム工業の皆様、有難うございました。報告の詳細は、会報誌「日中建協 NEWS」No.210号（7・8月号）ご参照ください。